

1人1台タブレット端末を活用し、 自分の考えを創造、表現する学習

第4学年

言葉から形、色

こんな生徒たちの姿が生まれました！

- 自分の感じたことを意欲的に表現しようとする姿がありました。
- 互いの良さを認め、自分の作品をより良いものにしようとする姿がありました。

大型提示装置とタブレット端末による効果

活用するアプリの説明など一斉指導が必要な際に、手元の操作をリアルタイムで見せながら、児童に活動の見通しをもたせることができる。



- ・ 本時の題材である「言葉から形、色」についてのテーマと活用するアプリの操作方法を全体で確認し、児童が授業の見通しをもてるようにする。
- ・ 見本を提示し、本時の内容について児童が関心をもてるようにする。

教師の指導のポイント

- 児童が制作に対して関心が高められるように、見本を提示し、授業の流れや操作方法を確認する。
- 児童の作品のよさを共有化できるように、いい作品を写しておき、全体で共有化を図る。

協働学習支援ツールの活用による効果



感じたことを表出しやすくなり、自分の考えを表現しやすくなる

- ・ 端末を使うことで自分が納得いくまでやり直しができ、自分の感じたことを表現しやすくなることができる。
- ・ 準備に時間がかからないため、創作の時間を長くとることができる。

他者の作品を簡単に鑑賞ことができ、仲間の作品の良さを取り入れてより良い作品作りができる。

- ・ 協働学習支援ツールを用いて、生徒の作品を全体で共有することで、他の児童の作品を簡単に鑑賞することができる。
- ・ 仲間の作品から技法や構図など良さを取り入れ、自分の作品をより良いものにすることができる。

教師の指導のポイント

- 児童が興味をもったものを好きなように鑑賞できるように、教師は児童の作品を共有化し、鑑賞できる時間を確保する。